

# 創刊号に寄せて

こども教育学部 学部長 南本 長穂

2020（令和2）年に、京都文教大学に第3番目の学部として「こども教育学部」が誕生・発足し、2年目を迎えている。この度、「こども教育学部紀要」の創刊号を発刊できる運びとなった。とても喜ばしいことである。

学部の今後の発展の土台は、学生の教育を支える教職員の教育力にあり、その教育力は教職員の研究力に基礎づけられ、大きく依存している。この意味では、教職員の研究力なくして、学部の教育力はありません。

昨年からの世界的なコロナ感染の広がりのなか、本学・学部においては、様々な困難や難題に直面してきたにもかかわらず、全教職員の創意工夫・多大の熱意や努力によって対処できてきたといえる。昨年や今年のように、大学・学部の教育と研究が予期せぬ困難な難局に直面した状況のなかにおいても、教育と研究の水準の確保という視点から考えた時、多くの先生方から優れた研究成果を寄稿していただき、創刊号を発刊できたことは、一定程度、大学・学部の社会的な使命を全うできていることを意味するのではないかと。

コロナ禍の終息を一日も早く願いながら、ますます多くの優れた論考が毎年、毎年、本紀要に寄せられることを期待して、創刊号の言葉といたします。

